

- 問1 聖武天皇が発した「大仏造立の詔」には、「富のある者も、労働力を提供する者も、一枝の草や一握りの土を持ち寄るような気持ちで協力してほしい」という意図が記されています。この事業を円滑に進めるため、聖武天皇が民衆の協力を得るために協力させた人物と、その背景の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 有力貴族の藤原氏を動員し、荘園の農民を強制的に都へ運行して工事を行わせた | 2. 唐から招いた鑑真に命じて、仏教の厳しい戒律を民衆に守らせることで労働を強いた | 3. 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた | 4. 摂政であった聖徳太子に命じて、十七条の憲法によって役人の規律を正させた |
|---|---|--|--|
- 問2 奈良時代の中頃、疫病の流行や政治的な混乱などの社会不安を背景に、仏教の力で国を守ろうとする考え方が強まりました。都である平城京に総国分寺として東大寺を建立し、全国に国分寺・国分尼寺を建てるよう命じた天皇は誰ですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 聖徳太子 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 律令時代の人民の負担のうち、口分田を与えられたすべての人々に課され、収穫した稲の約3%を納める税を「租」といいます。この「租」と、当時行われた「男子を女子と偽る不正（偽籍）」の関係について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 租は女子にのみ課される布などの特産物の負担であったため、男子を女子と偽る動機となった。 | 2. 租は男女ともに課される負担であったため、戸籍上で性別を偽っても逃れることはできなかった。 | 3. 租は都へ行って働く労役の負担であったため、女子と偽ることで地方に留まることが可能になった。 | 4. 租は男子にのみ課される最も重い負担であったため、女子と偽ることで納税を完全に回避できた。 |
|--|---|--|---|
- 問4 大化の改新以降、土地と人民は国家のものとする原則があったが、奈良時代に入るとこの原則は崩れていった。国家から与えられ死後に返還する「口分田」に対し、貴族や寺院が独自に保有・支配した私有地は何と呼ばれるか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|---------|
| 1. 公地公民 | 2. 株仲間 | 3. 荘園 | 4. 班田収授 |
|---------|--------|-------|---------|
- 問5 律令制のもとでは、政府が民衆を把握するために「戸籍」が作成され、それに基づき「口分田」が与えられました。この仕組みにおいて、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、地方の特産物を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税が課されました。これら二つの税の名称として正しい組み合わせを選んでください。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|--------|---------|
| 1. 公事と夫役 | 2. 調と庸 | 3. 租と庸 | 4. 防人と調 |
|----------|--------|--------|---------|
- 問6 奈良時代末期に大伴家持らによって編纂されたとされる、日本に現存する最古の歌集として適切なものを次のうちから選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|--------|
| 1. 日本書紀 | 2. 古今和歌集 | 3. 新古今和歌集 | 4. 万葉集 |
|---------|----------|-----------|--------|
- 問7 東大寺の大仏造立は、莫大な費用と人手を要する国家的な大事業でした。この事業を推進するにあたり、かつては朝廷から布教を制限されていましたが、民衆への社会奉仕活動を通じて絶大な支持を得ていたため、最終的に大仏造立の勧進（協力呼びかけ）として迎えられた僧はだれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 鑑真 | 2. 行基 | 3. 道鏡 | 4. 空海 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 律令制度のもとでは、農民に対して「租・調・庸」などの重い負担が課されていました。万葉集に収められた山上憶良の「貧窮問答歌」には、里長（さとのおさ）が税の取り立てにやってきて、厳しい声をあげる様子や、衣類も満足にない中で子供たちが泣きつく悲惨な生活が描かれています。当時のこうした負担の内容について、正しく述べたものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 口分田の収穫から一定割合の米を納める租のほか、地方の特産物を納める調、都での労働の代わりに布を納める庸などが課された。 | 2. 「惣」と呼ばれる村の自治組織が作られ、村全体で一括して年貢を納める仕組みが取られたが、凶作の際には免除された。 | 3. 近隣の5軒を「五人組」として組織し、税の納入や犯罪に対して連帯責任を負わせることで、確実な徴収が行われた。 | 4. 国民の義務として「小学校」への就学が命じられ、その教育費を捻出するために、米ではなく現金で納税することが義務付けられた。 |
|--|--|--|---|
- 問9 奈良時代、遣唐使によってもたらされた大陸の文化や思想の影響を受ける中で、聖武天皇が東大寺に巨大な大仏を造立した目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 貴族や僧侶の勢力を抑え、武士の力による新しい政治を始めるため | 2. 日本独自の文字や文学を普及させ、国風文化を発展させるため | 3. 大陸との貿易をさらに活発にし、国の財政を豊かにするため | 4. 仏教の教えによって社会の不安を和らげ、国を安定させるため |
|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
- 問10 日本の元号である「令和」の出典となった『万葉集』について、元号の由来に関する歴史的な意義を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|--|--|
| 1. 武士が政治の中心となった鎌倉時代の文学を、初めて典拠としたものである。 | 2. 日本の古典を典拠として、初めて日本の元号が選ばれた事例である。 | 3. 中国の歴史書を典拠とする、これまでの伝統的な慣習を重んじたものである。 | 4. 平安時代の貴族が執筆した随筆を、初めて元号の出典に採用したものである。 |
|--|------------------------------------|--|--|
- 問11 奈良時代の民衆の負担について説明した文として、適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 口分田の面積に応じて男女ともに稲を納める租が課されていた。 | 2. 都での労役に代えて布を納める庸は、男女ともに均等に課されていた。 | 3. 税の納入には宋銭を用いることが原則とされ、現物での納入は禁止されていた。 | 4. 地方の特産物を納める調は、五人組などの制度によって連帯で納められた。 |
|----------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問12 7世紀後半、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に白村江の戦いで敗れたことをきっかけに、大陸の制度を参考にしながら天皇を中心とする中央集権国家の仕組みが整えられました。この流れの中で、8世紀初頭に制定された法体系を何と呼びますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|----------|-----------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 大宝律令 | 3. 班田収授法 | 4. 十七条の憲法 |
|------------|---------|----------|-----------|
- 問13 奈良時代の政治の中心地であった平城京について、その造営の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 武士が政治の実権を握ったため、軍事拠点としての機能を最優先して設計された。 | 2. 唐の国際的な文化の影響を強く受け、大規模な役所や寺院が整備された。 | 3. 仏教の政治介入を防ぐため、都の中には一切の寺院を建立しなかった。 | 4. 外敵の侵入を強く警戒し、都の周囲全体を巨大な石造りの城壁で囲んだ。 |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた	聖武天皇は大仏造立を国家の強制的な事業とするのではなく、広く民衆が自発的に参加する形を理想としました。そのため、当時は政府の許可なく布教を行い弾圧の対象であったものの、橋の建設やため池の築造などの社会事業を通じて民衆から深く慕われていた僧の行基を登用しました。行基は大仏造立の責任者（勸進）として、多くの人々から寄付や労働力を募る役割を果たしました。
問2	答え 1 聖武天皇	奈良時代、社会を安定させるために仏教を重んじる「鎮護国家」の思想に基づき、聖武天皇が東大寺の建立や大仏の造立を行いました。選択肢にある聖徳太子は飛鳥時代の人物で法隆寺を建立しており、桓武天皇は平安京へ遷都した天皇です。
問3	答え 2 租は男女ともに課される負担であったため、戸籍上で性別を偽っても逃れることはできなかった。	「租」は口分田の面積に応じて課される税であり、男女の区別なく負担する義務がありました。人々が男子を女子と偽った主な目的は、男子にのみ課せられていた「調（特産物）」「庸（労働の代納）」「雑徭（地方での労役）」といった、より負担の大きい税や労働から逃れるためでした。したがって、性別を偽っても「租」の負担自体を消すことはできませんでした。
問4	答え 3 荘園	公地公民の原則に基づき支給された口分田とは異なり、墾田永年私財法をきっかけに成立した私有地のことである。平安時代にはさらに寄進などを通じて拡大し、国家の支配体制を大きく変える要因となった。班田収授は口分田を与える手続きのこと、株仲間江戸時代の同業者組合であり、時代や内容が異なる。
問5	答え 2 調と庸	律令国家の税制では、6歳以上の男女に与えられた口分田に対して課される「租」のほかに、成人男性の負担として、地方の特産物を納める「調」と、年間10日の都での労役（歳役）に代えて布を納める「庸」がありました。また、これら以外にも九州北部の警備にあたる「防人」などの兵役も課されていました。
問6	答え 4 万葉集	奈良時代の天平文化を代表する作品であり、全20巻から構成されています。大伴家持が最終的な編集に関わったと考えられており、約4500首もの歌が収められています。平安時代に編集された古今和歌集などと混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 2 行基	行基は、政府の許可なく民衆へ仏教を広め、橋や堤防の建設などの社会事業を行ったことで当初は弾圧されていました。しかし、その圧倒的な動員力と民衆からの信頼を聖武天皇が認め、大仏造立を成功させるために協力を要請しました。一方、鑑真は唐から来日し、正式な僧となるための儀式（授戒）を伝えた人物です。
問8	答え 1 口分田の収穫から一定割合の米を納める租のほか、地方の特産物を納める調、都での労働の代わりに布を納める庸などが課された。	律令国家の財政を支えるため、農民には多大な負担がありました。主に口分田の面積に応じて米を納める「租」、各地の特産物（絹や海産物など）を都まで運んで納める「調」、都での労役の代わりに布を納める「庸」がありました。これらに加えて、九州の警備にあたる防人（さきもり）などの「兵役」もあり、自分の食料を自ら用意して都や防衛地まで向かわなければならなかったため、農民の生活は「貧窮問答歌」に描かれるように極めて困窮していました。
問9	答え 4 仏教の教えによって社会の不安をしずめ、国を安定させるため	聖武天皇の時代は、疫病の流行や政治的な混乱が続いていました。こうした状況を仏教の力で解決しようとする考え方を「鎮護国家」と呼び、その中心的な事業として大仏が造られました。武士の台頭は平安時代末期以降であり、国風文化は平安時代中期に発達したものです。
問10	答え 2 日本の古典を典拠として、初めて日本の元号が選ばれた事例である。	日本の元号は、長らく中国の古典（漢籍）を典拠として選ばれるのが通例でしたが、2019年に制定された「令和」は、日本最古の歌集である『万葉集』を典拠として選ばれました。これは確認できる限り、日本の古典（国書）から元号が採用された初めての例として、文化史的にも大きな話題となりました。
問11	答え 1 口分田の面積に応じて男女ともに稲を納める租が課されていた。	奈良時代、稲を納める租は男女ともに負担しました。調（特産物）や庸（労役に代わる布）は主に一般の成人男子に課された負担です。五人組は江戸時代の制度であり、宋銭が普及するのは後世の時代となります。
問12	答え 2 大宝律令	唐・新羅の脅威に対抗するため、日本は法に基づく国家体制の構築を急ぎました。701年に制定されたこの法体系によって、官僚機構や税制、土地制度などが体系化され、律令国家としての基盤が固まりました。白村江の戦いから約40年後の出来事です。
問13	答え 2 唐の国際的な文化の影響を強く受け、大規模な役所や寺院が整備された。	平城京が営まれた奈良時代は、遣唐使を通じて唐の進んだ政治制度や国際色豊かな文化が積極的に取り入れられた時期です。都には大極殿などの官庁施設のほか、東大寺をはじめとする大規模な寺院が建立され、律令国家の威信を示す場となりました。中国の都市とは異なり、都市全体を囲むような強固な城壁（郭城）は日本では発達しませんでした。